

令和元年度 久留米市内単位互換協定校による

「共同講義」 開講のお知らせ

テーマ「久留米におけるくらしと未来」

受講料
無料

久留米市では、市内にある5つの大学等が単位互換協定を締結したことにより、毎年多数の科目が公開され、学生の皆さんが他の大学等の講義を履修した場合に、所属する大学等の単位として認定ができるようになりました。

この単位互換の一環として単位互換協定に参加している5つの大学等と久留米市が連携して、毎年一つのテーマを認定し、各校の個性や特色を活かした講座を開講する「共同講義」を実施しています。

今年度は、「久留米におけるくらしと未来」をテーマに、市民公開の共同講義として以下のように開講します。様々な視点から学ぶことができる貴重な機会ですので、意欲と関心のある学生・市民の皆様の多数の参加をお待ちしています。

日時 ▶ 2019年 10月1日～11月29日 18:30～20:00

会場 ▶ くるめりあ六ツ門6F みんくる会議室1・2, セミナー室1・2 (久留米市六ツ門町3-11)

主催 ▶ 高等教育コンソーシアム久留米 共催 ▶ 久留米学術研究都市づくり推進協議会

後援 ▶ 久留米市市民活動サポートセンター・みんくる

※申し込み期間：9月13日（金）～各講義当日まで

全15回

10/1 (火)	久留米大学 教授 世利 洋介 学園都市としての久留米を考える	11/8 (金)	久留米工業大学 教授 井野 明洋 電気はなぜ流れるか? ～久留米を拠点とする物質科学研究～
10/4 (金)	久留米信愛短期大学 教授 山村 涼子 若い世代の食育 ～めざせ! 栄養バランスの取れた豊かな食生活～	11/12 (火)	久留米工業大学 教授 白石 元 人の感性をコンピュータに理解させる1つの方法
10/8 (火)	久留米信愛短期大学 教授 原 浩美 日常生活に音楽がもたらすもの	11/15 (金)	久留米商工会議所 中小企業相談所長 行徳 和弘 「中心市街地活性化」と「久留米の宝を磨く」 “元氣な商業者を結び・繋ぎ・育む 街元氣プロジェクト”
10/11 (金)	久留米市 環境政策課 主任主事 山部 真史 地球温暖化の現状と、いま私たちができること	11/19 (火)	久留米大学 教授 世利 洋介 福岡県・福岡市・久留米市の観光政策
10/15 (火)	久留米大学 教授 世利 洋介 久留米市のコンパクトシティづくり	11/22 (金)	久留米大学 教授 世利 洋介 「健康都市」としての久留米を考える
10/18 (金)	久留米工業高等専門学校 特任教授 松田 康雄 久留米の和算	11/26 (火)	聖マリア学院大学 教授 眞崎 直子 健康寿命とソーシャルキャピタル推進の地域づくり
10/25 (金)	久留米工業高等専門学校 准教授 横溝 彰彦 「話す」トレーニング	11/29 (金)	聖マリア学院大学 准教授 近末 清美 知って得する災害時のストレス解消方法
10/29 (火)	久留米商工会議所 中小企業相談所長 行徳 和弘 人口減少社会における“地域振興とマーケティング”	12/3 (火)	予備日

申込・お問い合わせ先

※ 学生の皆さんの履修や出願手続き等については所属校の窓口にお問い合わせください。(裏面に記載)

高等教育コンソーシアム久留米
サテライト・キャンパス事務室

TEL・FAX : 0942-32-7622

E-mail : info@consortium-kurume.jp

ホームページアドレス : http://consortium-kurume.jp/

実施日	講師	演題	講義内容
10/1 (火)	久留米大学 教授 世利洋介	学園都市としての 久留米を考える	久留米の地の利を踏まえ、高等教育学校、特に大学が果たす役割について考えます。人口30万人以上の中核市において、大学の適正規模、久留米の地域ニーズに応える人材育成、地域特性を活かした大学教育は、どのように可能となるのか、「今日の私学財政」を手掛かりに、他の都市との比較や経営の視点を交えて考えます。
10/4 (金)	久留米信愛短期大学 教授 山村涼子	若い世代の食育 ～めざせ！栄養バランスの取れた 豊かな食生活～	久留米市は平成18年に「食育都市宣言」を行い、現在とくに若い世代への食育を推進しています。生命の源は食であり、日々の食事が健康生活につながることを学び、自分自身の食生活を振り返って健康的な食生活習慣についての理解を深めましょう。また、県内最大の農業生産都市でもある久留米市。特産である農産物を使った健康レシピもご紹介します。
10/8 (火)	久留米信愛短期大学 教授 原浩美	日常生活に音楽がもたらすもの	日常生活の中に、音楽は溢れています。ジャンルを問わず多様な音楽は、私達の心に届け込み聴く者の気持ちに寄り添ってくれます。音楽は、毎日の暮らしを豊かにしてくれるもの一つではないでしょうか。本講では、この久留米の地に因んだ合唱組曲や、普段なかなか聴くことのない地元作曲家や詩人の音楽作品を紹介し、鑑賞したいと思います。そして音楽が私達の日常になにをもたらすのか、考えてみましょう。
10/11 (金)	久留米市 環境政策課 主任主事 山部 真史	地球温暖化の現状と、 いま私たちができること	平成29年九州北部豪雨や平成30年西日本豪雨など、地球温暖化は、久留米市にも様々な悪影響を及ぼしています。地球温暖化対策を進めるため、久留米市も、国が進める国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」に賛同しています。いま私たちができることを考えていきましょう。
10/15 (火)	久留米大学 教授 世利洋介	久留米市の コンパクトシティづくり	「集中と選択」の視点から、コンパクトシティがまちづくりの世界的な潮流となっています。久留米市においても例外ではなく、周到な現状把握と方針を踏まえて、コンパクトシティづくりに取り組んでいます。今後、市民として、どういう視点でどういう係わりが大事なのか、という点について考えます。
10/18 (金)	久留米工業高等 専門学校 特任教授 松田 康雄	久留米の和算	江戸時代に日本独自の数学「和算（わさん）」が発達しました。ここ久留米では第七代藩主有馬頼権（ありまよりゆき）が和算の普及に大きく寄与し、久留米藩を中心に和算が栄えました。講座では和算、和算の歴史を紹介するとともに和算の問題にチャレンジしたいと思います。
10/25 (金)	久留米工業高等 専門学校 准教授 横溝 彰彦	「話す」トレーニング	他者との協働にコミュニケーションは欠かせませんが、話し手が思った通りに聞き手が理解するとは限らないという難しさが「ことば」にはあります。日本語を話す際にどのような点に注意すべきか、ワークショップを通して考えてみましょう。
10/29 (火)	久留米商工会議所 中小企業相談所長 行徳 和弘	人口減少社会における “地域振興とマーケティング”	中小企業経営や地域振興にとって“基幹戦略となるマーケティング”。仮説思考スタディを交えながら、Product out（売手志向）とMarket in（顧客志向）など、人口減少社会における地域振興の有るべき姿について学びます。
11/8 (金)	久留米工業大学 教授 井野 明洋	電気はなぜ流れるのか？ ～久留米を拠点とする 物質科学研究～	電気はなぜ流れるのか？という素朴な疑問を軸にして、金属・絶縁体・超伝導体の中の電子の不思議な振る舞いについて考えます。また、光を用いて電子を直接観測する実験手法や、久留米工業大学を拠点とするルテニウム酸化物の研究について、簡単に紹介します。
11/12 (火)	久留米工業大学 教授 白石 元	人の感性をコンピュータに理解 させる1つの方法	現在、産業用ロボットなどのように決まった動きを正確に自動化する技術は、ほぼ完成しています。今回、まだまだ自動化が難しい「熟練技」や人間特有の「繊細さ」などをコンピュータ化するために、有効であると思われる1つの手法を紹介します。
11/15 (金)	久留米商工会議所 中小企業相談所長 行徳 和弘	「中心市街地活性化」と 「久留米の宝を磨く」 “元氣な商業者を結び・繋ぎ・ 育む 街元氣プロジェクト”	久留米シティプラザオープンにより交流人口の増加や生み出される地域コミュニティ（文化交流）をエネルギーに、個店および集団の情報発信力、商品・サービスの魅力向上を図り、「業態」としての「力」を「高め・再生」し「商業活性化のシナジー」を最大化する時が来ています。地域の宝（地域資源）を磨き中心市街地活性化の取り組みについて学びます。
11/19 (火)	久留米大学 教授 世利洋介	福岡県・福岡市・ 久留米市の観光政策	地域活性化の一環としての観光振興の取り組みは、今日、その重要性を増しており、久留米においても例外ではありません。観光資源・観光ニーズ等の分析、久留米の観光動向の特徴付けを踏まえ、特に広域圏における自治体間連携の視点から今日の観光政策の在り方を考えます。
11/22 (金)	久留米大学 教授 世利洋介	「健康都市」としての 久留米を考える	「久留米広域連携中枢都市圏ビジョン」での将来像の実現に向けた取り組みとして「生活関連機能サービスの向上」が掲げられています。この中には、地域医療をはじめ、健康を維持・向上させる施策が含まれています。この健康関連の取り組みについて、産業・経済・行財政のデータから捉え直し、都市経営・都市行財政の視点から考えます。
11/26 (火)	聖マリア学院大学 教授 眞崎直子	健康寿命とソーシャルキャピタル 推進の地域づくり	健康寿命の延伸（元気で長生き）が求められる今日、誰もが住み慣れた地域で最期まで自分らしく健康でいきいきとした人生を送りたいと願っています。そのためには自らの健康管理はもとより地域や近隣の人々の支えや信頼の関係であるソーシャルキャピタルが重要であるといわれています。そこで、本講義では、自分らしく健康でいきいきと暮らすヒントを考えてみましょう。
11/29 (金)	聖マリア学院大学 准教授 近未清美	知って得する災害時の ストレス解消方法	災害は突然やってきます。災害に遭われた方々は、予告なく大切なものをなくされたり、いつもと違う生活を余儀なくされることとなります。大変な状況の中での生活は心身の不調を生じることも多いです。本講義では、災害にあわれた方や支援する方に役立つストレス解消のポイントを講義します。心身のリラックスについて考えてみましょう。

申込期間 9月13日（金）～各講義当日まで **開催会場** くるめりあ六ツ門6F（久留米市六ツ門町3-11）みんくろの会議室1・2、セミナー室1・2

- 出願手続** 学生の皆さんの履修や出願手続きについては、所属校の窓口にお問い合わせください。
- ★久留米大学 御井学舎事務部教務課 TEL：0942-44-2071 / FAX：0942-43-4413
 - ★久留米工業大学 教務課 TEL：0942-22-2348 / FAX：0942-21-8770
 - ★聖マリア学院大学 教務課 TEL：0942-35-7271 / FAX：0942-34-9125
 - ★久留米信愛短期大学 教務課 TEL：0942-43-4532 / FAX：0942-43-2531
 - ★久留米工業高等専門学校 学生課 TEL：0942-35-9314 / FAX：0942-35-9319



市民の方は受講無料。お申し込みは、以下のサテライト・キャンパス事務室までお願いします。